

プラズマ・核融合学会誌

第84巻第9号

2008年9月

解説	核融合炉固体増殖材料におけるトリチウム挙動研究の現状と展望 -原子スケールからのアプローチ-	小田卓司, 大矢恭久, 田中知	563
講座	核融合炉構造材料の照射損傷 6. 最近の核融合炉壁候補材料の照射損傷	若井栄一, 室賀健夫, 長谷川晃	571
講座	衝撃波による粒子加速 1. 宇宙プラズマにおける粒子加速と無衝突衝撃波の概観 2. 捕捉電子の超相対論的加速	大澤幸治 大澤幸治	583 589
研究論文	ITER中性子ストリーミング研究の現状	落合謙太郎, 飯田浩正, 佐藤聰, 高倉耕祐, 今野力	594
レビュー論文	IFMIF液体金属リチウムターゲット流に関する実験研究	近藤浩夫, 金村卓治, 顧和平, 山岡信夫, 宮本齊児, 井田瑞穂, 中村博雄, 松下出, 室賀健夫, 堀池寛	600
インフォメーション	ITER だより(11) 【会議報告】第18回核融合炉におけるプラズマ表面相互作用国際会議／第35回プラズマ物理に関する 欧州物理学会年会 【人事公募】		606
Plasma & Fusion Calendar			613
本会記事	第2回ITER国際夏の学校 (IISS-2008) ならびに第47回プラズマ若手夏の学校開催報告／第25回年会日程表／第21回専門講習会開催のお知らせ／プラズマ科学シンポジウム2009・第26回プラズマプロセシング研究会		615

表紙の絵

TRAPSE 試験装置主要部分(a, b)と誘導通電の原理図(c)。φ50 mm の有効磁場空間中で、最大磁場 15 T、最大通電電流 10 kA (ITER-TF 导体換算で 500 kA)、最大応力 40 MPa を印加し、超伝導ケーブルの特性を評価することで、DEMO 炉に外挿可能なデータを得る。(d)は極低温においてダイヤモンド並みの高熱伝導率を有する水でケーブルを補強した例。本研究により初めて電磁力に起因する特性劣化低減に有効であることが実証された。(Kazutaka SEO *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.3, 042 (2008). <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です）権利委託先：学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)